

【お寄せいただいたご意見・ご提案と市の考え方】

No.	提出されたご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方
		<p>(ご意見に対する共通事項)</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画は、行政全般にわたる過疎対策の取り組みを記した総合的な計画としております。この度いただいた具体的なご意見により、計画に記載している内容の変更はいたしませんが、貴重なご意見として参考にさせていただき、今後の個別の取り組みを進めてまいりたいと考えます。</p> <p>なお、ご意見に対する個別事項の考え方は以下のとおりです。</p>
1	<p>P. 9</p> <p>1. 基本的な事項</p> <p>(3) 雲南市行財政の状況</p> <p>②財政 表1-2 (1) 財政の状況 [決算額]</p> <p>①財政力指数～将来負担比率について、積算方法と算出した数字の意味をわかり易く別紙資料として掲載してはどうか。</p> <p>(例) 経常収支比率が高いと地方公共団体の財源の余裕がない 等</p> <p>②平成22年度、平成27年度、令和2年度の決算額が掲載されているが、直近(令和6年度)の決算額を掲載してはどうか。</p>	<p>①用語説明を掲載いたします。</p> <p>②掲載している決算額は、国勢調査年度を基準に掲載しているため、直近の決算額につきましては、市報等により公表しているものでご確認ください。</p> <p>(総務部財政課)</p>
2	<p>P. 10</p> <p>1. 基本的な事項</p> <p>(4) 地域の持続的発展の基本方針</p> <p>人口減少、高齢化、一人暮らし世帯の増加、自治会離れ等の社会・価値観の変化を考えると、今までどおりの方針に疑問を感じる。住民と市政の担当者との今後の地域の在り方などを直接意見交換して納得感ある方針を模索すべきと考える。</p>	<p>令和7年4月より始動した第3次雲南市総合計画の策定にあたっては、市民ワークショッピングや地域別の意見交換会など市民との対話を重視し、まちづくりの方針を定めたところです。過疎地域持続的発展計画においても、総合計画の方針を踏襲しております。</p> <p>総合計画で定めている「えすこな雲南市(みんなが幸せに暮らせるまち)」の実現に向け、令和7年度より「えすこ会議」を実施しています。「えすこ会議」では、総合計画に定めている12の施策ごとに実施し、市民</p>

		<p>や施策の関係者、行政が参加し、次年度に実施する事業について共に考えます。今年度が初の取り組みであり、今後実施する際には市ホームページ、市報などで周知を図ってまいります。</p> <p>(政策企画部政策推進課)</p>
3	<p>P. 19</p> <p>3. 産業の振興</p> <p>(1)農業の振興</p> <p>①現況と問題点 ②その対策</p>	<p>市では、日本型直接支払制度を活用するとともに、地域計画の議論に市も参画し地域の担い手、地権者及び地域の方々の理解を得ながら将来を見据えた農地維持の取り組みを進めています。</p> <p>また、農業委員会による農地の斡旋や農地中間管理機構を介した農地の集積・集約等を行いながら耕作放棄対策を行っています。</p> <p>(農林振興部農業畜産課)</p>
4	<p>P. 38</p> <p>6. 生活環境の整備</p> <p>(3)廃棄物処理対策等の推進</p> <p>①現況と問題点</p>	<p>①奥出雲町も含めたごみ処理の広域化・集約化を行うことの最大の利点は維持管理費の抑制が図られることにあると考えます。すなわち、将来に渡りごみ処理を持続していくことにつながることが、市民の方に対するメリットと捉えています。計画中、その旨追記させていただきました。</p> <p>②施設整備に際しては、多額の起債を発行しなければなりません。償還につきましても長期にわたるため、将来の人口や財政状況等も考慮しながら検討をしていく必要があります。令和8年1月時点においても、これらの</p>

		<p>課題を踏まえ整備の在り方に係る検討をしているところであります、返済計画等の詳細を掲載することはできませんが、計画中、前段の旨、追記させていただきました。</p> <p>(市民環境部新ごみ処理施設整備準備室)</p>
5	<p>趣旨説明</p> <p>計画策定にあたり、計画の目的、目標、目指すべき雲南市のような理想などを巻頭言などとして記載してはどうか。</p>	<p>令和3年4月1日に施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(令和3年法律第19号)」に基づき、過疎地域における持続可能な社会の形成及び地域資源等を活かした地域活力のさらなる向上を実現するために策定する計画です。</p> <p>計画の基本方針、目標につきましては、「1. 基本的な事項」の「(4) 地域の持続的発展の基本方針」、「(5) 地域の持続的発展のための基本目標」に掲載しております。</p> <p>(政策企画部政策推進課)</p>
6	<p>P. 42 6. 生活環境の整備 (6)住宅の整備 ①現況と問題点</p> <p>定住基盤整備・造成、賃貸住宅の整備について、行政主導の場合はコストがかかるため、大手賃貸住宅メーカーなどと連携し、民間企業主導で進めるべきと考える。</p> <p>また、空き農地、耕作放棄地の有効活用に向けて規制の緩和等を検討するべきと考える。</p>	<p>市内中核拠点ゾーンを中心に民間賃貸住宅建設が進んでおり多様な住宅供給に寄与していますが、住まいのセーフティネット等の役割を担う公的賃貸住宅供給も必要と考えます。</p> <p>(建設部建築住宅課)</p> <p>農地は持続可能な農業を維持するため、農地法により農地の所有や転用について規制することが定められています。</p> <p>住宅の整備におきましても、農地法に基づいた農業委員会での手続きを進めていただく必要がございます。</p> <p>(農林振興部農業畜産課)</p>

7	<p>P. 2</p> <p>1. 基本的な事項</p> <p>(1)雲南市の概況</p> <p>②経済的条件 イ 工業</p> <p>定住基盤整備や定住人口の増加に向けて、加茂東谷北工業団地の早期建設整備、住宅団地の大規模拡張造成工事の実施をお願いしたい。</p>	<p>加茂東谷北工業団地などに限らず、市内で整備する工業団地、住宅団地につきましては、雲南市土地開発公社と連携し、立地の適正評価や市内での需要等を精査したうえで計画的な開発を実施してまいります。</p> <p>(政策企画部政策推進課)</p>
8	<p>P. 3 1</p> <p>5. 交通施設の整備</p> <p>(1)道路網の整備</p> <p>①現況と問題点 ②その対策</p> <p>①国道54号柳橋交差点（加茂町）の早期の整備着工、完成について、国土交通省へ要望をしてもらいたい。</p> <p>発注される予定の令和7年度国道54号柳橋下部第1工事が第2四半期発注を経過したのに未だに発注されていない。</p> <p>②国道54号交通安全対策、柳橋交差点改良（交通安全事業）、歩行者自転車橋の整備</p> <p>国道54号交通安全対策、金丸団地入口交差点改良（交通安全事業）、市道中村家路線の進捗状況はどうなっているのか。</p>	<p>国道54号に係る交通安全事業につきましては、国土交通省松江国道事務所が行っています。</p> <p>①柳橋交差点改良事業につきましては、当初令和7年秋に工事発注予定でしたが、計画の見直しをされ、令和8年秋工事着手とされたところであり、加茂町の皆様には自治会回覧にて周知をされることとなっております。</p> <p>②金丸団地交差点改良事業につきましても事業着手されており、現在用地調査を実施されていると伺っております。</p> <p>市といたしましても、いずれの事業とも早期完成に向け引き続き要望していく考えです。</p> <p>(建設部都市計画課)</p>
9	<p>P. 6 2</p> <p>10. 集落の整備</p> <p>(1) 集落の維持・活性化</p> <p>①現況と問題点 ②その対策</p> <p>地域おこし協力隊だけでなく、他自治体でも設置している集落支援員について、雲南市でも設置をお願いしたい。</p> <p>特定地域づくり事業協同組合についてもよ</p>	<p>現在、市では国の集落支援員制度を活用しておりますが、市から各地域自主組織に交付している地域づくり活動等交付金に国の集落支援員と同様な役割を担う人材の配置</p>

	<p>り一層活発に取り組んでほしい。</p>	<p>に関わる経費を算定しており、地域自主組織の判断に基づいて集落支援等を行う人材が配置されている状況にあります。</p> <p>(政策企画部地域振興課)</p> <p>特定地域づくり事業協同組合につきましては、多様な働き方ができることや地域の担い手の人材確保となる事業であり、地域の活性化への寄与となる取り組みとして、今後も積極的に取り組みを支援してまいります。</p> <p>(政策企画部うんなん暮らし推進課)</p>
10	<p>P. 31</p> <p>5. 交通手段の確保</p> <p>(2)交通確保対策の推進</p> <p>①現況と問題点 ②その対策</p> <p>沿線活性化、路線存続維持や県外からの誘客、インバウンドの確保に向けて、木次線の観光列車あめつちの木次線区間の運行回数を現状より増やすようJR西日本に要望してほしい。</p> <p>また、旅行会社によるツアープランの企画立案を促してほしい。</p>	<p>観光列車あめつちの運行回数増に向け、島根県及び沿線地域で連携してJR西日本に対して要望してまいります。</p> <p>ツアープランの企画立案につきましては、沿線地域と共に旅行会社の支援を行い、ツアーフラスト、利用促進に取り組んでいるところです。</p> <p>(産業観光部観光振興課)</p>
11	<p>P. 23</p> <p>3. 産業の振興</p> <p>(4)商工業の新興</p> <p>①現況と問題点 ②その対策</p> <p>雲南市への誘客を促すため、ディスカウントストアや広島市石内東地区にあるアウトレットモールなどのような大規模小売店舗(大型商業施設)などの積極的な誘致を図ってもらいたい。</p> <p>また、大手飲食店チェーンについても雲南市に積極的な誘致を図ってもらいたい。</p> <p>特に加茂町については、人口密度が高く、他の町と比べコンパクトシティが実現しやす</p>	<p>大規模小売店舗の誘致は、行っておりません。大手飲食店チェーンの誘致につきましても同様です。</p> <p>(産業観光部商工振興課)</p> <p>雲南市は多様な地域特性を有していることから、地域の特性を生かした均衡ある発展に配慮しながら、それぞれの地域にあった「暮らしやすさ」が感じられるまちをめざし</p>

	<p>いと考える。</p>	<p>ています。</p> <p>加茂町につきましては、「中核拠点ゾーン」に位置付けており、利便性の高い都市機能と にぎわいのあるまちづくりをめざしています。</p> <p>今後も、将来の人口動向や社会状況の変化 を踏まえながら、持続可能なまちづくりに取 り組んでまいります。</p> <p>(政策企画部政策推進課)</p>
1 2	<p>P. 31</p> <p>5. 交通手段の確保</p> <p>(2)交通確保対策の推進</p> <p>①現況と問題点 ②その対策</p>	<p>市民バス車両は、年次的に新車購入し、更 新を行っています。毎年度の利用者数や市内 高校への要望調査などにより、効率的に運行 できるよう関係機関との調整を図っており ます。引き続き、持続可能で利用しやすい地 域公共交通の構築を目指して取り組んでま いります。</p> <p>(政策企画部交通政策室)</p>
1 3	<p>P. 17</p> <p>2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育 成</p> <p>(1) 移住・定住・地域間交流の促進、人材育 成</p> <p>①現況と問題点 ②その対策</p>	<p>①東京23区（特別区）からの雲南市へのU ターン、Iターンを積極的に推進、促進する。 移住者がベネフィットやインセンティブを 享受する仕組みを整備し、移住者を増やし人 口の増加につなげてほしい。</p> <p>②新聞に掲載されていた吉田町への陸上自 衛隊の演習場、弾薬庫を誘致については、吉 田町の振興活性化につながるため、防衛省へ</p>

	誘致を要望してもらいたい。	(総務部総務課)
14	<p>P. 22</p> <p>3. 産業の振興</p> <p>(3)地場産業の振興、企業誘致及び企業の促進</p> <p>①現況と問題点 ②その対策</p> <p>若者に人気のある日本標準産業分類G（情報通信業）のIT企業を積極的な誘致を図ってほしい。ゆくゆくは、ニアショア開発拠点として雲南市が選ばれるようにしてほしい。</p>	若者の雇用の創出を図るため、IT企業の誘致を行っております。 (産業観光部商工振興課)
15	<p>P. 28</p> <p>3. 産業の振興</p> <p>(6)計画 道の駅活性化整備事業</p> <p>道の駅さくらの里きすきの駐車場を大規模化、巨大駐車場の整備や、長距離トラック運転手の時間調整、待機する場所を整備してほしい。</p> <p>セミトレーラー用の駐車場も新たに設けてほしい。雲南市内の企業間物流（B to B、3PL）を行っているため、場所の確保をお願いしたい。企業の生産性向上につながる。松江道の三刀屋木次ICから宍道IC間は有料のため忌避し、三刀屋木次ICで乗降するのをよく見る。道の駅ごいせ仁摩（大田市）のようなRVパークを整備するのも良い。周遊性、回遊性の改善する必要がある。たんびにきて家の大規模改修を行い、産直、地産地消を促進してほしい。</p>	<p>現在工事を進めている道の駅さくらの里きすき活性化整備事業におきまして、駐車場を拡張することとしております。内容としては「小型車マス」45台、「大型車マス」3台、「身障者用マス」1台、「RVパーク用区画」4台となっています。なお、大型車マス全体としては12台となり、1台分は、セミトレーラー用となります。なお、この整備内容につきましては、島根県トラック協会の要望事項を加味しております、新たな物流需要に一定配慮しているものと考えております。</p> <p>また、交流ゾーンとして芝生広場を整備しますが、大規模災害発生時には芝生広場を開放し、100台以上の車中避難が可能になります。</p> <p>産直市「たんびにきて家」につきましても、現在、改修を行っており、今年3月下旬のリニューアルオープンを予定しています。産直の振興、地産地消にも寄与するものと考えております。</p> <p>(産業観光部産業観光総務課)</p>
16	<p>P. 31</p> <p>5. 交通手段の確保</p>	

	<p>(2)交通確保対策の推進 ①現況と問題点 ②その対策</p> <p>J R 加茂中駅のトイレ（便所）が改修されておらず、大変老朽化しているのでトイレ改修をお願いしたい。</p>	<p>J R 木次線加茂中駅のトイレにつきましては、J R 西日本所有であるため、直接、市が改修することが出来ませんが、改修いただけるよう今後も引き続き要望してまいります。</p> <p>なお、加茂中駅の近くに洋式トイレ、多目的トイレを備えた公衆トイレがありますので、そちらのご利用もご案内をしております。</p> <p>（政策企画部交通政策室） （加茂総合センター自治振興課）</p>
17	<p>P. 17 2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 (1) 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 ①現況と問題点 ②その対策</p> <p>空き家問題の解決策として空き家を改修・改築して民泊（Airbnb、バケーションレンタル）、コワーキングスペースとして等へ有効利活用する。</p>	<p>空き家を活用した民泊やコワーキングスペース等も紹介しながら、空き家の管理や啓発、利活用等の促進を図ってまいります。</p> <p>（政策企画部うんなん暮らし推進課）</p>
18	<p>P. 29 4. 地域における情報化 (1) 地域情報化の推進 ①現況と問題点 ②その対策</p> <p>現在、雲南市・飯南町事務組合で提供されているサービスの通信速度は、一番速いプランで1 G b p s である。大都市や近隣市で提供されているサービスのように10 G b p s へ高速化してほしい。</p> <p>また、F T T H整備後、2035年までにと言っている老朽化したメタル回線を撤廃（巻き取り作業）する必要がある。</p>	<p>雲南市における雲南夢ネットのインターネット光プランの利用状況は、3～10 M b p s が80%、50～100 M b p s が18%、1 G b p s が2%の状況です。</p> <p>1 G b p s 以上の高速サービスにつきましては今後、通信端末機器等（パソコンや端末通信機器等）の高速化などの市場動向やニーズ状況により検討してまいります。</p> <p>また、N T Tのメタル設備を利用した加入</p>

		電話につきましては代替サービスとしてNTTの光ファイバー等への移行が計画されており今後の状況を注視してまいります。 (政策企画部広報広聴課)		
19	P. 29 4. 地域における情報化 (1) 地域情報化の推進 ①現況と問題点 ②その対策	<p>防災行政無線の屋外拡声子（スピーカー）については、聞こえない地域、難聴地域、不感地域があるため追加設置してほしい。</p> <p>「市から発信する防災に関する情報は、基本的に防災無線を活用します。ケーブルテレビの音声告知放送なども活用する場合があります」とあるが、市民に一番伝わる伝達手段はケーブルテレビの音声告知放送であることから、防災無線だけに依存せず、音声告知放送も今よりもっと活用するべきである。</p>	現時点では、市内131基ある防災無線の屋外拡声子局（屋外スピーカー）を追加整備する計画はございません。 (防災部防災安全課)	市からお知らせする情報につきましては、防災無線からは防災に関する情報とし、音声告知放送では防災情報以外の行政情報をお知らせすることとしております。 また、緊急情報につきましては必要に応じ音声告知放送も活用し多重な情報発信に取り組んでまいります。 (政策企画部広報広聴課)
20	P. 31 5. 交通手段の確保 (1) 道路網の整備 ①現況と問題点 ②その対策	「雲南省道路整備計画」や「雲南省道路維持管理計画」をPDF形式で市ホームページ等へ公表・公開、ご教示願いたい。	同計画は、市ホームページに掲載しております。また、計画路線等は、令和7年2月に策定した雲南省実施計画（令和7年度～令和11年度）に掲載しております。 (建設部建設工務課)	
21	P. 31 5. 交通手段の確保 (2) 交通確保対策の推進 ①現況と問題点 ②その対策	JR木次線や市民バスについては、ダイヤ、	市民バスのルート・ダイヤ改正につきまし	

	<p>ルート改正などの状況等をみながら都度改正を要望します。持続可能なアップデートを繰り返すバス活性化基本計画を立てはどうか。</p>	<p>では、路線ごとの利用者数や地域・市内高校等への要望調査などにより、効率的に運行できるよう関係機関との調整を図り、毎年度、改正しております。</p> <p>JR木次線につきましては、市民バスとの接続や市内各高校への要望調査等により、毎年ダイヤ改正の要望を取りまとめ、JR西日本に対し要望を行っております。</p> <p>市の地域公共交通のマスタープランとして、「雲南市地域公共交通計画」がございます。5年ごとに見直しを行い、計画を踏まえながらルート・ダイヤ等の見直しを行っております。引き続き、地域にとって望ましい公共交通の姿を実現し、持続可能で利便性の高い地域公共交通網の構築を目指して取り組んでまいります。</p> <p>(政策企画部交通政策室)</p>
22	<p>P. 64  11. 地域文化の振興等  (1) 地域文化の振興等  ①現況と問題点 ②その対策</p> <p>加茂岩倉遺跡について、文科省が策定する全国の小中高校で使用されている教科書資料集用語集等に記載しもらうよう要望する。県外の方が知るきっかけになり広域観光インバウンド観光振興で加茂岩倉遺跡に訪れるきっかけになる。  加茂岩倉遺跡周辺を県外からの誘客によりもっと活性化した方が良い。旅行会社に頼みツアーワークを企画立案してはどうか。</p>	<p>加茂岩倉遺跡につきましては、教科書会社を含め広く情報提供をしております。</p> <p>また、雲南市観光協会の教育旅行のパンフレットに掲載して情報提供しております。</p> <p>雲南市観光協会を通じて歴史や神話への興味関心の高い旅行会社に対し、加茂岩倉遺跡に関する情報提供等を行ってまいります。</p> <p>(教育委員会文化財課)  (産業観光部観光振興課)</p>
23	<p>P. 40  6. 生活環境の整備  (3)廃棄物処理対策の推進  ①現況と問題点 ②その対策</p> <p>ごみの細分化はより一層細分化、分別を徹底された方が良いと考える。</p>	<p>ごみの分別や3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、ごみの減量化と再資</p>

源化に努めてまいります。

(市民環境部環境政策課)